

道の駅「発酵の里こうざき」

- 町の資産である発酵文化(酒、味噌、醤油)を「道の駅」を核として世界に発信するなど、「道の駅」から需要を創出し、地元産業の振興による雇用の創出、伝統や技術の継承などを図る。
- 圏央道開通で、成田空港アクセスなど、地域のポテンシャルが高まる中、圏央道と国道の両方からアクセスできるゲートウェイとして「道の駅」を整備。(H27年4月オープン予定)

＜地方創生拠点としての機能＞  
ゲートウェイ型

インバウンド観光 発酵文化の世界への発信	観光総合窓口 町中の資源と連係した窓口	産業振興 発酵関連特産品の商品開発	防災 災害時の避難拠点
-------------------------	------------------------	----------------------	----------------



●発酵市場 (発酵商品や特産品の展示販売、情報コーナー)



日本酒の試飲もできる酒蔵まつり(H21～)

- ・人口6500人の町に約5万人が来訪
- ・JR東日本は新宿から直通臨時列車を運行

町内の観光資源

- ・国指定天然記念物の大クス(右)
- ・県指定天然記念物の神崎神社(下)  
※1300年前に遷座

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
発酵の里こうざき	千葉県	神崎町	町道松崎356号線	新設	平成26年	単独型



＜提案の先駆性・ポイント＞

- 成田国際空港との至近距離を活かし、ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食・日本人の伝統的食文化」をイメージとした「発酵の町神崎」を世界に向けてPRし、海外からの観光客誘致。
- 道の駅を核として、産業の振興、雇用の創出、人材育成、観光の振興を図り、首都圏と北総地域の人・もの・情報が交流する神崎の新しい地域拠点を創造。

＜実施内容＞

- 免税店、外国人案内所の整備
- 発酵製品を活かしたオリジナル商品やレストランメニューの開発
- 酵素を活かした発酵足湯の整備
- 道の駅と町内資源が連携した観光メニューの開発とシャトルバスの整備
- 災害時の備蓄倉庫等の整備